

## 年収と「心の豊かさ」は関係する？

金融広報中央委員会では、家計の金融行動や金融リテラシー、金融教育に関する各種調査を行っています。今回、その調査の一つである「家計の金融行動に関する世論調査」の結果から、ちょっと気になるデータをご紹介します。

突然ですが、皆さんはどんなときに「心の豊かさ」や「幸せ」を感じますか？ お金をたくさん手に入れたとき、自分自身の成長を実感したとき、社会に貢献できたときなど、様々だと思います。

「家計の金融行動に関する世論調査」では、「心の豊かさ」と年収の関係をみることができます（下図、二人以上世帯）。ポイントは二つあります。①年収水準が高くなるほど「心の豊かさ」を実感している世帯の割合は増えていきますが、②一定の年収を超えると、そうした比例関係は緩やかなものになります。

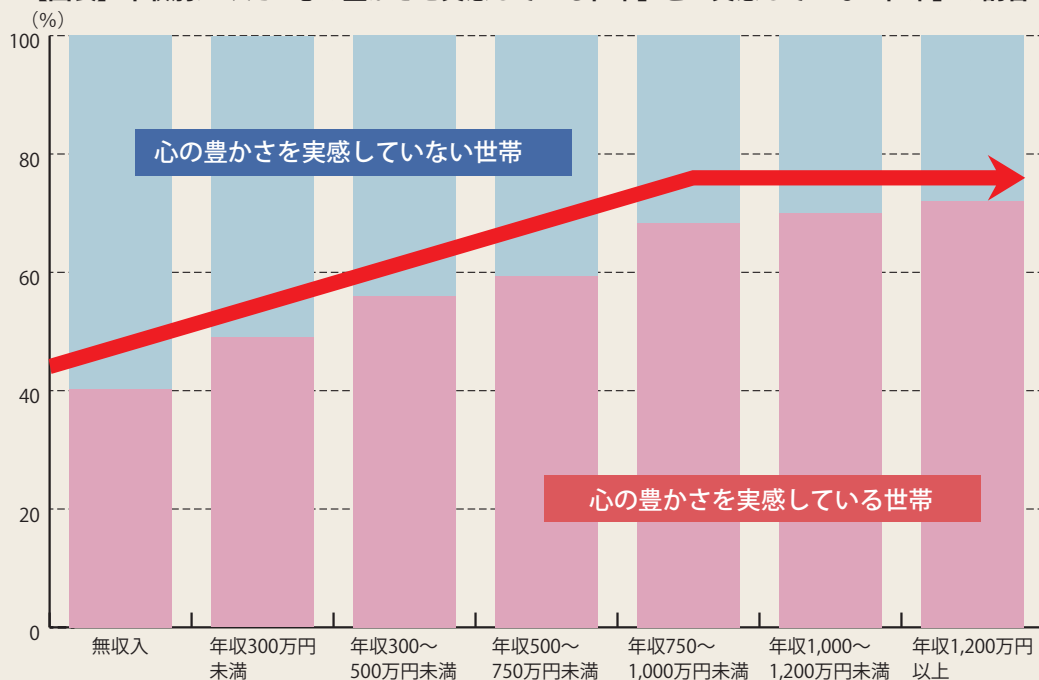
「心の豊かさ」を実感するのにある程度の収入は必要ですが、必ずしも「収入が多ければ多いほど心がどんどん豊かになる」という訳ではないということでしょうか？

歴史的にも、「幸福」や「心の豊かさ」とお金の関係に関する名言は数多くありますが、その一つがアイルランド出身のノーベル文学賞作家 バーナード・ショーのこの名言でしょう。

「20代の頃より10倍金持ちになったという60代の人間を見つけることは簡単だ。  
だが、そのうちのだれもが10倍幸せになったとは言わないはずだ」

皆さんにとって「心の豊かさ」を実感するのに必要なものって、何ですか？

【図表】 年収別にみた「心の豊かさを実感している世帯」と「実感していない世帯」の割合



(出所)「家計の金融行動に関する世論調査」(2021年、二人以上世帯)